

パブリックコメントの実施結果について

川崎町地域福祉計画改定版（案）に関するご意見と回答

（受付期間）令和2年11月16日（月）～令和2年11月27日（金）

（受付人数）3名（男性3名）

（意見件数）3件

No	年代	性別	頁	ご意見	回答
1	60代	男性	37	地域住民参画の支援の項で、地域住民参画とは地域政策の計画立案、意思決定において、行政と住民との意見交換、合意形式を行うことだと思う。スポーツ大会等への参加機会や支援・生涯学習事業の振興の推進を中心に記載されているが、地域福祉活動全般にわたる参画を促すことも必要ではないでしょうか？	地域福祉を推進するための取り組みとして、誰もが自分らしく暮らせるまちづくりを進めていくために、身近な地域で、支え合い、助け合いの輪を広げ、地域住民の参画と協働で共に生きるまちをつくる地域福祉活動を進めていくことが重要です。ご指摘のとおり、スポーツ関係や生涯学習事業の振興の推進に加え、地域福祉活動全般にわたり、誰もがいつまでも暮らし続けることができる地域福祉活動に関する様々な情報提供、多様な媒体での広報、各種行事における啓発などを行い、地域福祉活動への地域住民の参画を促していくことが必要不可欠です。今後は多岐にわたり地域住民参画の支援について、検討していきたいと考えます。
2	60代	男性		この計画案は、町民アンケートにより、どのような支援を望んでいるのかが良くわかり、この要望を計画に活かしている。すべての福祉の支援も大切だが、高齢者や障がい者福祉の推進が必要と思っている人がアンケートの結果多かったので、高齢者や障がい者福祉の推進を重要視していると感じた。町の高齢者人口が増加している中、状況を踏まえてのよい計画案となっている。	本計画策定前に企画情報課にて、第6次川崎町総合計画策定に向けたアンケート調査結果、高齢者や障がいのある人の施策内容に大変関心が高い状況でした。本計画26頁より、年代別でみると、50歳代以下は「子どもの教育の充実」が30.3%で最も多く、次いで「働く場所の確保（34.4%）、子育て支援や保育サービスの充実（30.5%）、高齢者や障がい者福祉の推進（27.3%）、60歳代以上は、「高齢者や障がい者福祉の推進」が40.9%でご指摘のとおり、最も多いという結果でした。本計画の策定が重要な位置付けで、「よい計画案」と評価していただき大変ありがとうございます。今後は、町民の皆様のすべての人が住み慣れた地域で他の人々と共に生きる社会を実現するため、町民の皆様の要望を取り入れながら、最適な施策を推進していきたいと思います。
3	40代	男性		川崎町地域福祉計画（案）につきましては、しっかりと熟読させていただきましたが、内容については川崎町にとって、町民にとって素晴らしいものが出来ていると思います。ですが、町民がこの計画（案）に目を通して内容を把握しようとした時、文字が沢山あり、うんざりされて、目を通さないと思います。提案としましては、こういったしっかりした計画（案）がある事が大事ですが、それを町民の方に知ってもらうには、例えばDVD等の映像等で観るのものの方が効果があると思います。	本計画は、少子高齢化の進行の中、育児や介護、失業と病気などの複合的な課題を抱える世帯等、生活における問題は多様化、複雑化しています。このような中、本町の基本理念としまして、「誰でも安心して生活でき、ぬくもりと絆を感じられるまちづくり」とし、すべての人が住み慣れた地域で、他の人々と共に生きる社会を実現するための施策内容が大変多くなってしまいました。しかし、それらの内容を全てご熟読していただき、大変ありがとうございました。また、ご指摘をいただきました町民の皆様への周知方法につきましては、DVD等の映像等観る方法や分かりやすい概要版を作成し配布を行ったり、地区公民館等での説明会の開催等を検討してまいりたいと思います。